

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間：2022年10月～2023年9月

発行日：2023年11月27日



黒木コンポジット株式会社



※環境省

エコアクション21

認証番号0012622

目次

1. 環境経営方針	P.3
2. 事業活動内容	
(1)会社概要	P.4
(2)体制図	P.5
3. 環境経営目標及び実績	
(1)中長期経営目標（2022年度～2024年度）	P.6～7
(2)2022年度実績	P.8～9
4. 環境活動計画及び評価	
(1)2022年度環境活動実績	P.10～11
(2)環境活動内容と取り組みの評価	P.12～15
(3)実施状況	P.16～18
5. 来期環境経営目標及び計画	
(1)中長期経営目標(2023～2025年度)	P.19～20
(5)次年度環境活動計画	P.21～22
6. 環境関連法規への違反, 訴訟等の有無	P.23
7. 代表者による全体評価と見直しの結果の指示	P.24

1. 環境経営方針

《基本理念》

黒木コンポジット株式会社は、地球環境改善を重要な課題と位置づけ、
HIP処理 電子ビーム溶接 機械加工の事業活動を通じて生産における
環境への配慮を行うと共に、環境経営システムを構築・運用することにより、
継続的かつ着実に環境保全活動を行い次世代に継承出来る環境の実現を目指します。

《行動指針》

環境経営システムを構築・運用し、環境関連法規等を遵守するとともに環境負荷低減に努めます。
以下の行動指針に基づき、環境目標及び活動計画を定め、
定期的な見直しを行い、継続性のある活動を展開します。

- ① 二酸化炭素の排出を削減します。
(効率的なエネルギー使用を推進します。)
- ② 廃棄物の削減
(分別を徹底しリサイクル率の向上に努めます。)
- ③ 水使用量の削減
(節水に努め、水使用量を削減します。)
- ④ 使用する化学物質の削減に努めます。
- ⑤ 事業活動に関連する効率アップ及びグリーン購入を推進し環境負荷低減に努めます。
- ⑥ 関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
- ⑦ 全従業員が改善活動の意義を理解し積極的に実践できるように方針を周知します。
- ⑧ この環境方針は広く一般に公表します。

2019年10月1日改訂

黒木コンポジット株式会社

代表取締役社長 黒木 亜矢子

2. 事業活動内容

(1) 会社概要

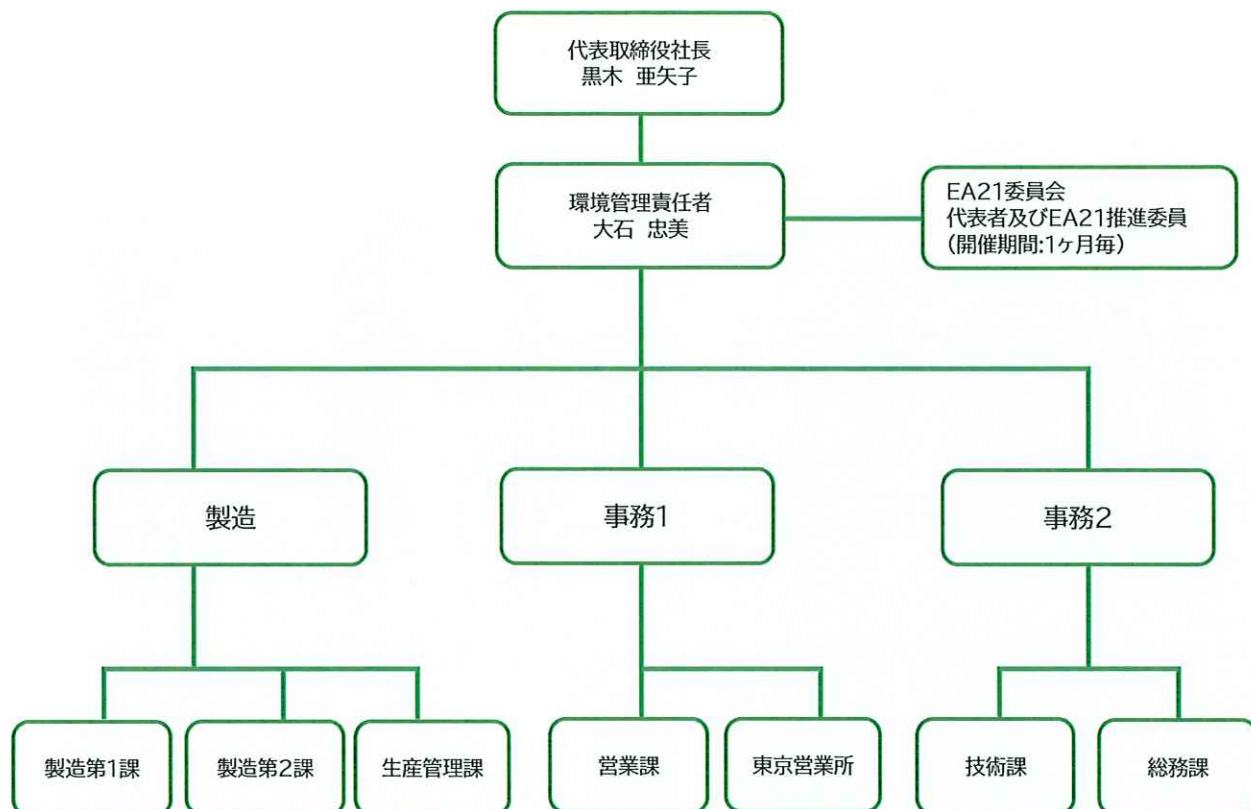
■ 事業所名	黒木コンポジット株式会社
■ 代表者名	黒木 亜矢子
■ 所在地（本社工場）	福岡県鞍手郡鞍手町大字古門字兵丹3109番地の9
■ 法人設立年月日	1986年10月(昭和61年)設立
■ 資本金	4,000万円(2023年9月末時点)
■ 環境管理責任者	大石 忠美
■ 連絡担当者	矢野 章
■ 連絡先	
○ 本社工場	TEL:0949-42-3301 FAX:0949-42-2390
○ 東京営業所	TEL:03-5713-3774 FAX:03-5713-2777
○ E-mail 本社工場	krkcompotoiawase@kuroki.co.jp
■ 事業内容	HIP(熱間等方圧加圧) EBW(電子ビーム溶接) 及び 機械加工を使用した複合金属部品の製造
■ 当社の事業年度	10月1日～翌年9月30日
■ 事業規模	2022年度（37期実績） ・売上高 : 2,525 (百万円) ・従業員数 : 91(人) ・床面積 : 6,869 (m ²)
■ 認証登録範囲	『本社・工場及び東京営業所 全事業活動』



2. 事業活動内容

体制図

2023年11月27日作成



所属	氏名 (所属/役職)	役割・責任・権限
代表者	黒木 亜矢子 (代表取締役社長)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組を実施する為の全体の評価と準備
環境管理責任者	大石 忠美 (工場長)	組織全体の把握及び、環境経営システムの構築・運用。それに関する情報の社長への報告
EA21事務局	総務課	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
推進委員	副工場長	電力、廃棄物の排気量管理、リサイクル率管理
	製造第1課/課長	
	製造第2課/課長	
	生産管理課/課長	
	営業課/課長	車燃料(ガソリン、軽油)排出量管理
	東京営業所/副所長	東京営業所の電力・水消費・廃棄物の管理
	技術課/課長	水消費の管理、不適合管理、薬品・環境負荷物質の管理
	総務課	

3. 環境経営目標及び達成状況

(1) 中長期経営目標（2022～2024年度）

	目的	環境経営目標	単位	2016年度 (第31期)	2022年度 (第37期)	2023年度 (第38期)	2024年度 (第39期)
本社	省エネルギー	二酸化炭素 排出量 ^{※3}	%	基準	9%削減 ^{※2}	10%削減 ^{※2}	11%削減 ^{※2}
			kg-CO2	1,454,927	2,322,390	2,401,272	2,440,907
		自動車 燃費量 ^{※4}	%	2018年度基準	現状維持	現状維持	現状維持
			km/L	13.38	13.38	13.38	13.38
	資源リサイクル(廃棄物削減)	廃棄物 (一般廃棄物)	%	基準	9%削減	10%削減	11%削減
			kg	4,503	7,116	7,358	7,632
		廃棄物 (産業廃棄物)	%	基準	9%削減	10%削減	11%削減
			kg	20,841	33,379	34,513	35,799
		製品不良率 ^{※5}	%	基準	9%削減	10%削減	11%削減
			件	2.90	2.64	2.61	2.58
	省資源の 推進	水使用量	%	基準	9%削減	10%削減	11%削減
			m ³	5,082	8,067	8,341	8,651
	環境汚染 防止	グリーン購入 の推進	品	—	45	45	45
		化学物質 使用量	%	基準	9%削減	10%削減	11%削減
			kg	2,573	2,519	2,605	2,702
	地域貢献	会社周辺 の清掃	回	—	1回/年	2回/年	2回/年
東京営業所	省エネルギー	二酸化炭素 排出量 ^{※3}	%	基準	9%削減 ^{※2}	10%削減 ^{※2}	11%削減 ^{※2}
			kg-CO2	—	7,821	8,087	8,221
	省資源の 推進	水使用量	%	基準	9%削減	10%削減	11%削減
			m ³	—	70	75	78
	資源リサイクル(廃棄物削減)	廃棄物 (一般廃棄物)	%	基準	9%削減	10%削減	11%削減
			kg	—	96	99	103

※1 各年度期間と売上比率による各年度の係数

2016年度(31期):2016年10月~2017年9月末

2022年度(37期):2022年10月~2023年9月末→1.76

2023年度(38期):2023年10月~2024年9月末→1.84

2024年度(39期):2024年10月~2025年9月末→1.93

売上比率による係数:各年度の売上(予測)金額から基準年度(2016年)度の売上金額を割った値から

各項目の目標値は基準値から各係数・削減率をかけたもの

※2 各年度の目標削減量は、基準年度から1%毎削減

※3 CO²の調整後排出係数 (電力:九州電力2016年度実績引用)

〔電力〕0.483(kg-CO₂/kWh)

※4 自動車燃費量は33期(2018年度)を基準とし、算出方法の確立を実施する

※5 受注件数当たりの不適合発生件率

※6 2022年度(第37期)より東京営業所分を含む目標

3. 環境経営目標及び達成状況

(2)2022年度実績(2022年10月～2023年9月)(本社)

目的	環境経営目標	単位	2016年度	2023年度実績(2022年10月～2023年9月)		
			基準年度	目標 (9%削減)	実績	評価※1
省エネルギー	二酸化炭素排出量※2	kg-CO2	1,454,908	2,322,390	2,242,362	◎
	自動車燃費量	km/L	13.38	13.38	13.16	○
資源リサイクル (廃棄物の削減)	廃棄物排出量 (一般廃棄物)	kg	4,503	7,116	4,521	◎
	廃棄物排出量 (産業廃棄物)	kg	20,841	36,680	27,195	◎
	製品不良率削減※3	%	2.90	2.64	1.50	◎
省資源の推進	水使用量	m ³	5,082	8,067	5,904	◎
環境汚染防止	グリーン 購入の推進	品	—	45	102	◎
	化学物質適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	○
地域貢献	会社周辺の清掃	回/年	—	1回/年	2回/年	◎

※1 削減目標/達成目標の達成状況により表示を変える

100%以上 ◎ 80%以上～100%未満 ○ 80%未満 ×

社内評価:80%以上を合格とする

※2 CO2の調整後排出係数はP6を参照下さい

実績は実際の数値となります

※3 受注件数当たりの不適合発生率

※4 新型コロナウイルス感染症が終息してから再開

(2)2022年度実績(2022年10月～2023年9月)(東京営業所)

目的	環境経営目標	単位	2020年度	2023年度実績(2022年10月～2023年9月)		
			基準年度	目標 (9%削減)	実績	評価※1
省エネルギー	二酸化炭素排出量※2	kg-CO2	—	7,821	7,177	◎
省資源の推進	水使用量	m ³	—	70	137	×
資源リサイクル (廃棄物の削減)	廃棄物排出量 (一般廃棄物)	kg	—	96	56	◎

※1 削減目標/達成目標の達成状況により表示を変える

100%以上 ◎ 80%以上～100%未満 ○ 80%未満 ×

社内評価:80%以上を合格とする

※2 CO2の調整後排出係数 東京電力㈱ 2020年度(0.447kg-CO2/kWh)、

4. 環境活動計画及び評価

(1) 2022年度環境活動実績(本社)

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
排出量の削減 二酸化炭素	■ 電気使用量削減活動 - 不要な照明の消灯 - エアコン温度を時季に応じて設定 - 不適合製品の削減 ■ ガソリン・軽油燃費向上 - タイヤ空気圧の定期点検実施	製造第1課長 営業課長				
						
水使用量の削減	■ 節水の励行	総務課長				
廃棄物の削減 排出量	■ 一般/産業廃棄物の削減 - ゴミの分別の徹底 - 工具再利用の実施	製造第2課長				
グリーン購入の推進	■ 目標品数: 45件 事務用品購入時にはグリーン品か否かを確認し購入	総務課長				
化学物質管理適正	■ 管理の実施 - 配置場所の管理 - 使用量の管理	生産管理課長				
地域貢献	■ 会社周辺の清掃 地域社会の貢献として会社周辺の清掃を行っていく	技術課長				

(1)2022年度環境活動実績(東京営業所)

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
排出量 の削減 削減 9%	■ 電気使用量削減活動 - 不要な照明の消灯 - エアコン温度を時季に応じて設定	東京営業所長				
水使用量 の削減 削減 9%	■ 節水の励行	東京営業所長				
廃棄物 の削減 削減 9%	■ 一般/産業廃棄物の削減 ゴミの分別の徹底	東京営業所長				

4. 環境活動計画及び評価

(2)環境活動内容と取組みの評価

1. 二酸化炭素排出量（本社）

目標	実績値	達成率	評価
2,322,390 kg-CO2	2,242,362 kg-CO2	103%	■ 電力使用量 エアコンや積極的な消灯にて省エネに努めてはいるが、売上増加に伴う生産量UPにより使用量が増加傾向にある。消費電力の大きい老朽機代替等による省エネ対策を継続的に進め、今後の推移を注視したい。 ■ ガソリン・軽油の使用量 燃費目標比：98.4% 今期は燃費の悪かったトラックを代替し燃費が改善。急加速等を避け燃費と安全を意識した運転を心がけたい。 ■ 不適合 第37期は受注件数に対する不適合発生率(1.5%)と目標(2.64%以下)に抑える事が出来た。来期も目標が達成出来る様に更に監視・対策を講じて行きたい。
継続の可否			
■ 電力関係 :継続 ■ 燃費関係(ガソリン/軽油):継続 ■ 不適合製品発生率削減 :継続			
取組み内容			
■ 電力使用量削減 ・エアコン温度を時期に合わせ設定 ・不要な照明の消灯（昼休み・夜勤・残業時） ■ 不適合製品発生率の削減 ・不良発生状況の把握/改善会議の開催 ・不良件数の削減 ■ 社用車の燃費向上 ・タイヤの定期点検			

2. 水使用量（本社）

目標	実績値	達成率	評価
8,067	5,904	127%	年間を通じて目標を十分に達成。今後も無駄が無いよう注視し目標を達成したい。
m ³	m ³		
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・節水の励行			

3. 廃棄物総排出量（本社）

目標	実績値	達成率	評価
一般廃棄物			■ 一般廃棄物 工場内に分別用ゴミ箱を配置し分別廃棄を徹底、目標達成。 ■ 産業廃棄物 産業廃棄物は第4工場のレイアウト変更に伴う水溶性廃油の排出量の増加等により、増加する月もあったが、年間目標は達成できた。 ■ キリコ(ドライ粉) 鉄・アルミニウムの分別実施により、引取価格の向上に寄与した。
7,116 kg	4,521 kg	136%	
産業廃棄物			
36,680 kg	27,195 kg	126%	
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・工具再利用の推進			
・分別の実施			

4. 化学物質適正使用（本社）

目標	実績値	達成率	評価
適正管理	適正管理	-	年間通して入出庫管理が良く出来ていて、適正な運用が出来ていると判断する。
継続の可否			
継続			

組み内容			
・配置場所の管理 ・使用量の管理			

5. グリーン品購入（本社）

目標	実績値	達成率	評価
45 件	102 件	227%	購入する際にはグリーン購入法を意識するとともに、ファイルなどは再利用できるものは再利用する。ペンなどではできるだけ替え芯などで対応するなどを実行することとしたい。
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・グリーン購入法特定調達品の購入			

6. ボランティア活動（本社）

目標	実績値	達成率	評価
1 回/年	2 回/年	200%	年1回の実施を計画。新型コロナウイルス感染も落ち着き、春・秋2回実施できた。
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・会社周辺道路の清掃を3班に分け、春・秋の2回実施			

7. 二酸化炭素排出量（東京営業所）

目標	実績値	達成率	評価
7,821	7,177	108%	■ 電力使用量 エアコンや積極的な消灯にて省エネに努めている。前年度は在宅勤務中心であり、出社日数増加に伴い電気使用量は増加したが、目標は達成できた。
kg-CO2	kg-CO2		
継続の可否			
■ 電力関係		:継続	
取組み内容			
■ 電力使用量削減			
・エアコン温度を時期に合わせ設定			
・不要な照明の消灯（昼休み・夜勤・残業時）			

8. 水使用量（東京営業所）

目標	実績値	達成率	評価
70	137	目標超過(未達)	今期目標値は在宅勤務であった前年実績を基に設定。新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴い、在宅勤務から第37期は出勤に変わり水道の使用量は増加、目標未達となった。 東京営業所は賃貸オフィスであり、水使用量を正確に把握できないため来期は定性的な目標とした。
m ³	m ³		
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・節水の励行			

9. 廃棄物総排出量（東京営業所）

目標	実績値	達成率	評価
一般廃棄物			■ 一般廃棄物 ゴミ削減に注力した結果、年度間の目標達成した。
96 kg	56 kg	142%	
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・分別の実施			

4. 環境活動計画及び評価

(3)実施状況

■ エコアクション委員会の実施

毎月、各部署より選出されたエコアクション委員を招集し、

「エコアクション委員会」を実施。

電力使用量、ガソリン使用量などの各データをもとに、

活動の振り返りと今後の活動について、エコアクション委員を中心に協議を実施。

エコアクション委員会 会議風景》

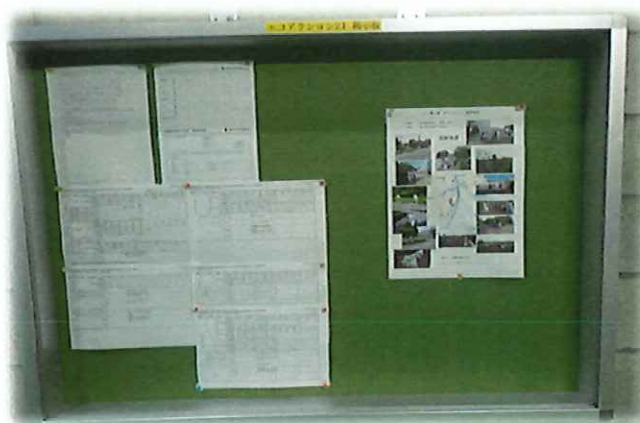


■ 環境掲示板の設置

活動内容等を掲示。

社員全員の目に届く場所に掲示することで、周知徹底を図っています。

《環境掲示板》



■ エアコンの定期清掃及び設定温度の指示

環境に配慮したエアコンの使用を実施。

各エアコンに夏季・冬季での使用時の設定温度を表示。

設定温度を、夏季は26℃、冬季は22℃に設定して使用しています。

毎月エアコンフィルターを清掃することで効率的な冷暖房の使用を心掛けています。

《各エアコンの設置状況》



■ 節電の呼びかけの実施

電力使用量削減を目的として、各署の照明スイッチ付近に節電の呼びかけを掲示。

「身近なところから始めれる」節電活動の啓蒙を図っています。

《節電呼びかけポスターの使用例》



■清掃活動の実施(2022.11.18/2023.5.12)

3ルートに分かれて工場周辺の道路を1時間程度かけて清掃

《清掃活動の様子》



5. 来期環境経営目標及び計画

(1) 中長期経営目標（2023～2025年度）

	目的	環境経営目標	単位	2022年度 (第37期)	2023年度 (第38期)	2024年度 (第39期)	2025年度 (第40期)
本社	省エネルギー	二酸化炭素 排出量※3	%	基準	1%削減※2	1%削減※2	1%削減※2
			kg-CO2	2,242,362	2,391,379	3,249,172	2,423,066
		自動車 燃費量※4	%	基準	現状維持	現状維持	現状維持
			km/L	13.16	13.16	13.16	13.16
	資源リサイクル(廃棄物削減)	廃棄物 (一般廃棄物)	%	基準	1%削減※2	1%削減※2	1%削減※2
			kg	4,521	4,821	6,551	4,885
		廃棄物 (産業廃棄物)	%	基準	1%削減※2	1%削減※2	1%削減※2
			kg	27,195	29,002	39,405	29,387
		製品不良率※5	%	基準	1%削減※2	1%削減※2	1%削減※2
			件	1.50	1.49	1.47	1.46
	省資源の 推進	水使用量	%	基準	1%削減※2	1%削減※2	1%削減※2
			m³	5,904	6,296	8,555	6,380
	環境汚染 防止	グリーン購入 の推進	品	—	45	45	45
		化学物質 使用量	kg	—	適正管理	適正管理	適正管理
	地域貢献	会社周辺 の清掃	回	—	2回/年	2回/年	2回/年
東京営業所	省エネルギー	二酸化炭素 排出量※3	%	基準	1%削減※2	1%削減※2	1%削減※2
			kg-CO2	7,177	7,654	10,399	7,755
	省資源の 推進	水使用量	m³	—	節水励行	節水励行	節水励行
	資源リサイクル(廃棄物削減)	廃棄物 (一般廃棄物)	%	基準	1%削減※2	1%削減※2	1%削減※2
			kg	56	60	81	61

※1 各年度期間と売上比率による各年度の係数

売上比率による係数:各年度の売上(予測)金額÷前年度売上金額×(100-1%)

第37期売上実績:2,525M、第38期売上予測:2,720M、第39期売上予測3,733M(いわき工場は含まず)

第40期売上予測:2,812M(いわき工場は含まず)

※2 CO²の調整後排出係数 (電力:九州電力2016年度実績引用)

[電力]0.483(kg-CO₂/kWh)

※3 自動車燃費量は33期(2018年度)を基準とし、算出方法の確立を実施する

※4 受注件数当たりの不適合発生件率

※5 2022年度(第37期)より東京営業所分を含む目標

※6 目標達成の評価:第38期より目標達成○、目標未達△、目標大幅未達(目標比90%未満の達成)×とする

cf.第37期までは目標比100%以上◎、80%以上～100%未満○、80%未満×

※7 東京営業所の「水使用量」:賃貸オフィスで使用量が把握できないため、定性的目標を設定。

5. 来期環境経営目標及び計画

(2)2023年度(38期) 環境活動計画(本社)

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
排出量 の削減 ■ 二酸化炭素	■ 電気使用量削減活動 ・ 不要な照明の消灯 ・ エアコン温度を時季に応じて設定 ・ 不適合製品の削減 ■ ガソリン・軽油燃費向上 ・ タイヤ空気圧の定期点検実施	製造第1課長 生産管理課長 営業課長				
1%削減						
水使用量の削減	■ 節水の励行	総務課長				
1%削減						
廃棄物の削減	■ 一般/産業廃棄物の削減 ・ ゴミの分別の徹底 ・ 工具再利用の推進	製造第2課長				
1%削減						
グリーン購入の推進	■ 目標品数:45件 ・ 事務用品購入時にはグリーン品か否かを確認し購入	総務課長				
化学物質管理適正	■ 管理の実施 ・ 配置場所の管理 ・ 使用量の管理	技術課長				
地域貢献	■ 会社周辺の清掃 ・ 地域社会の貢献として会社周辺の清掃を行っていく	総務課				

5. 来期環境経営目標及び計画

(5)2023年度(38期) 環境活動計画(東京営業所)

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
排出量 の削減 1%削減	■ 電気使用量削減活動 ・ 不要な照明の消灯 ・ エアコン温度を時季に応じて設定	東京営業所長				
節水の 励行	■ 節水の励行 ・ 適切な節水に努める ・ 退社時の水道止水確認の徹底	東京営業所長				
廃棄物 の削減 排出量 1%削減	■ 一般/産業廃棄物の削減 ・ ゴミの分別の徹底	東京営業所長				

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1)適用となる主な環境関連法規

法律名 (略称にて記載)	適用対象	適用条項		遵守状況
		条項	事項	判定
騒音規制法	コンプレッサー等	法5・6条他	特定施設の設置の届出	適正
振動規制法	コンプレッサー等	法5・6条他	特定施設の設置の届出	適正
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	一般廃棄物	令4条	委託先業者選択基準	適正
	産業廃棄物	規則8条	保管基準	適正
		法12条の2 規則8条の17	特別管理産業廃棄物に関わる処理	適正
		法12条の3	産業廃棄物管理票	適正
		規則8条の27	管理票交付者の報告書	適正
		法12条 令8条他	委託契約基準	適正
高圧ガス保安法	アルゴンガス	第5条 第35条 第35条の2	届出 保安検査 定期自主検査	適正

※上記法令の他、環境関連法に係る法令違反はありません。

(2)訴訟等

- ・関連機関等からの指摘等⇒無
- ・訴訟⇒無

7. 代表者による全体評価と見直しの指示

本年度も、ほぼ全項目で目標達成が出来ました。しっかりと環境負荷低減を意識した生産活動であったと思います。本社では、新型コロナウイルス感染症も落ち着き、久しぶりに年2回の清掃活動を実施出来ました。東京営業所では、在宅勤務から出勤に変わり「省資源の推進(水使用量)」は目標未達となりました。第38期は定性的な目標設定に変更しますが、引き続き節水を励行する意識を持って取り組んで下さい。また、2023年8月の現地審査における審査員の助言に基づき、今期の目標達成に係る評価は「目標達成○、目標未達△、目標大幅未達×」に変更しました。これまでは「目標達成◎、80%以上～100%未満達成○、80%未満達成×」としていましたので、指標としてのハードルを下げたこととなります。これまでよりも期中で×評価となる項目も増加すると思いますが、早期に異常に気付くことができるようになると思いますので、早期に対応し問題解決に取り組むように心がけて下さい。受注が順調で毎期生産量も増加していますが、引き続き高い目標を掲げて環境活動に取り組んで下さい。